

平成20年3月分および平成19年度 徳島県の販売電力量について

需要の概要

【3月分】

平成20年3月の販売電力量は、5億5千5百万kWh時、前年比 103.4%となった。

【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、2月から3月上旬の気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、前年比112.1%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、前年に比べ、3月上旬および下旬の気温は低めに推移したものの、中旬の気温が高めであったことなどから、前年比98.6%となった。

産業用の「大口電力」は、紙、パルプが前年を上回ったものの、鉄鋼、化学の減などから、前年比 99.5%となった。

【平成19年度】

平成19年度の販売電力量は、65億2千7百万kWh時、前年比 101.9%となった。

【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、前年に比べ、8月後半から9月の気温が高めに、また、1月から2月の気温が低めに推移し、空調需要が増加したことなどから、前年比103.6%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比103.0%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプなどが前年を上回ったことから、前年比 101.0%となった。

需要実績

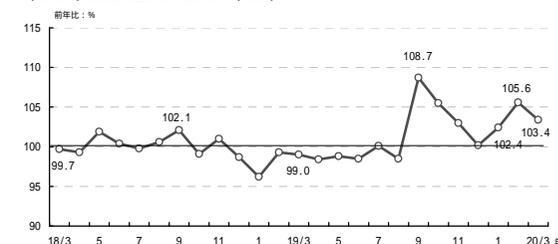
		当月分		19年度	
		電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	182	112.1	1,999	103.6
	電 力	37	106.8	450	99.7
	計	219	111.2	2,449	102.8
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	97	98.6	1,272	103.0
	産業用電力	239	99.1	2,806	100.6
	うち大口電力	200	99.5	2,323	101.0
	計	336	98.9	4,078	101.4
販売電力量計		555	103.4	6,527	101.9

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。

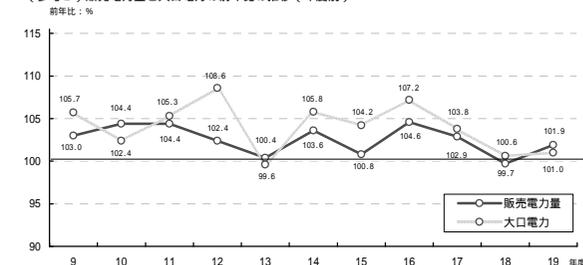
大口電力の主な産業別内訳

	電力量	当月分			19年度			
		前年比			前年比			
		20/3月	20/2月	20/1月	19年度	18年度	17年度	
紙・パルプ	35	140.6	140.4	151.5	366	128.3	116.8	111.9
化 学	46	91.7	85.2	94.9	566	89.3	99.9	99.7
鉄 鋼	37	83.3	56.0	68.2	423	96.2	87.9	104.2
機 械	50	108.4	113.6	108.5	572	107.7	104.5	108.2
そ の 他	32	91.6	105.5	98.5	396	97.5	102.5	100.3
合 計	200	99.5	95.0	98.5	2,323	101.0	100.6	103.8

(参考1) 販売電力量の前年比の推移(月別)



(参考2) 販売電力量と大口電力の前年比の推移(年度別)



(参考3) 徳島市平均気温

	20/2月				20/3月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実績	5.1	5.1	6.5	5.5	8.1	12.3	11.3	10.6
平年差	0.3	1.4	0.1	0.6	0.3	3.2	0.8	1.5
前年差	3.1	4.0	2.9	3.3	1.7	5.0	2.2	0.3

(参考4) 徳島市夏季、冬季平均気温

	夏季平均気温				冬季平均気温			
	7月	8月	9月	平均	12月	20/1月	2月	平均
実績	25.7	28.6	26.8	27.0	9.6	6.0	5.5	7.0
平年差	0.6	1.2	2.9	1.1	1.3	0.0	0.6	0.2
前年差	0.7	0.3	2.7	0.5	0.5	1.6	3.3	1.5